



県道前橋長瀬線(綿貫工区) 現道拡幅



小高地区 かけ崩れ対策



県道寺尾藤岡線(山名工区) バイパス整備

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

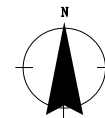
高崎地域

令和8年度版

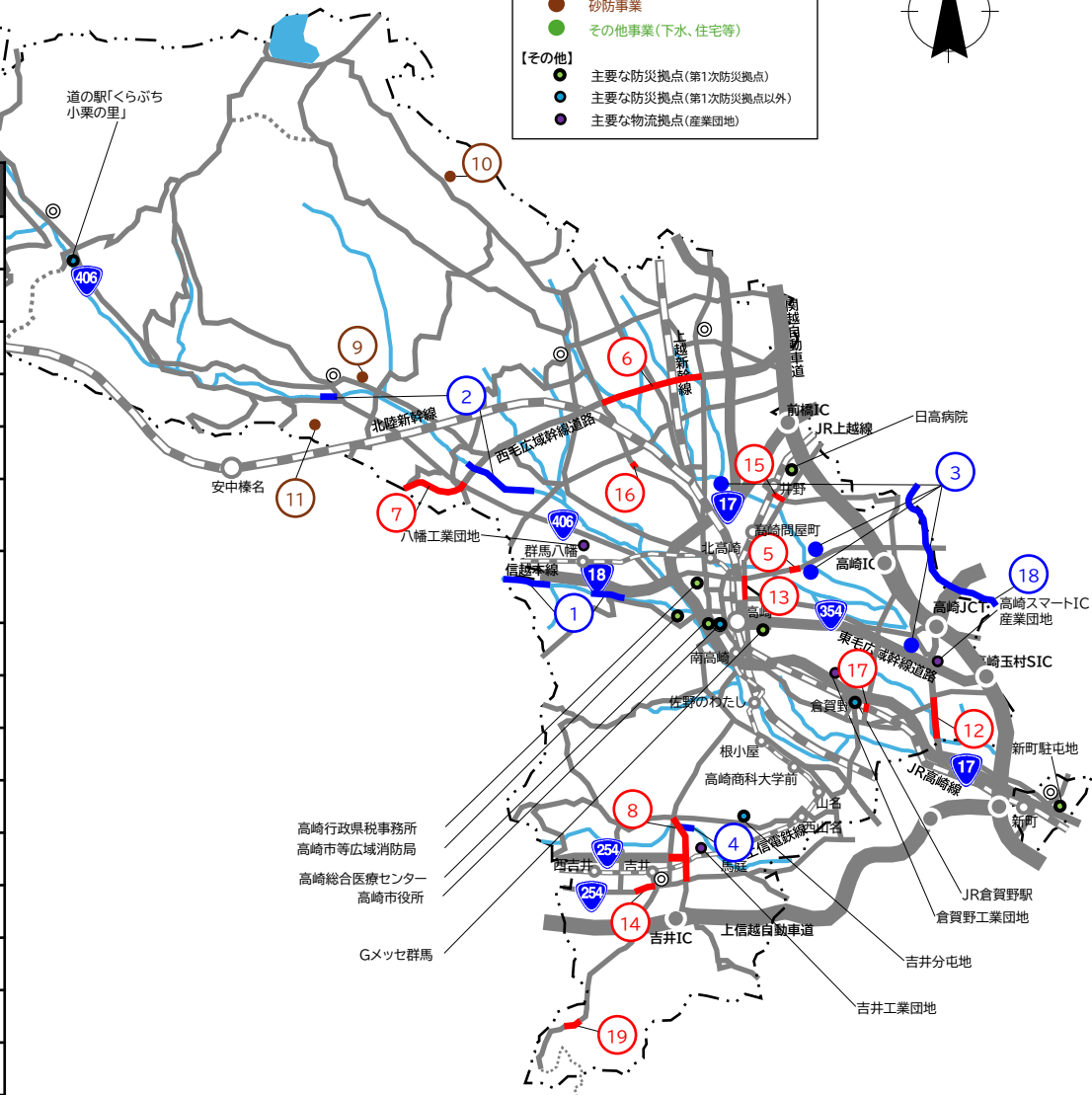
高崎地域



- 凡例
- 【事業分野区分】
- 道路事業
 - 河川事業
 - 砂防事業
 - その他事業(下水、住宅等)
- 【その他】
- 主要な防災拠点(第1次防災拠点)
 - 主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
 - 主要な物流拠点(産業団地)



番号	事業内容	施工箇所	路河川名
1	河川改修	高崎市乗附町・鼻高町	一級河川碓氷川(高崎工区)
2		高崎市町屋町～下室田町	一級河川烏川
3	調節池整備	高崎市綿貫町～大八木町	一級河川井野川
4	河川改修	高崎市吉井町池	一級河川鑄川(池工区)
5	電線共同溝	高崎市上大類町	県道高崎駒形線(上大類町工区)
6	バイパス整備	高崎市棟高町～箕郷町下芝	西毛広域幹線道路(高崎工区)
7		高崎市下里見町～安中市下秋間	西毛広域幹線道路(高崎安中工区)
8		高崎市吉井町岩崎～矢田	県道高崎神流秩父線(矢田工区)
9	土石流対策	高崎市下室田町	花見町1
10	がけ崩れ対策	高崎市箕郷町松之沢	はるな郷A地区
11	土石流対策	高崎市上里見町	房坂川
12	現道拡幅	高崎市綿貫町～岩鼻町	(都)前橋長瀬線(高崎工区)
13		高崎市江木町～芝塚町	(都)高崎前橋線
14	歩道整備	高崎市吉井町下長根	国道254号(下長根工区)
15		高崎市井野町	県道井野停車場線(井野町工区)
16		高崎市浜川町	県道高崎東吾妻線(浜川町工区)
17		高崎市倉賀野町	県道元島名倉賀野線(倉賀野町工区)
18	河川改修	高崎市中島町～萩原町	一級河川利根川(前橋高崎玉村工区)
19	孤立対策	高崎市吉井町東谷	県道高崎神流秩父線(東谷工区)



一級河川 碓氷川 (高崎工区) 河川改修事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて 流せる水の量を増やします

地元の声

- ・近年の豪雨で今後堤防から水があふれてしまうか心配です。(地域住民)
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市乗附町、鼻高町
- 事業内容: 築堤300m(乗附地区) 1,500m(鼻高地区)
- 事業期間: 平成28年度～
- 事業着手前の流下能力: 約630m³/s
- 計画流量: 1,900~2,000m³/s

事業前

- ◆ 堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。



事業後

- ◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



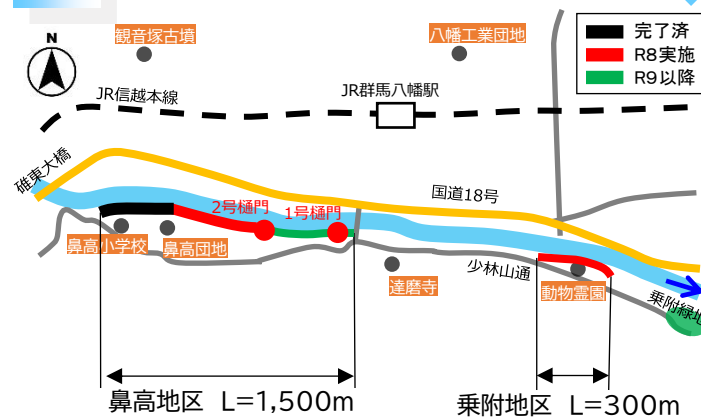
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	478ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	3,286戸

実施後(目標)
0ha
0戸

※碓氷川河川改修事業高崎工区及び安中工区の実施後による効果



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、鼻高地区で樋門(2基)工事及び築堤工事を実施します。乗附地区では測量設計を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げして 流せる水の量を増やします

地元の声

・自宅の前の堤防が周りよりも低い(堤防が無い)ので大雨が降ると心配です。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市町屋町～下室田町
- 事業内容: 堤防整備3,250m
- 事業期間: 平成30年度～
- 事業着手前の流下能力: 約720m³/s
- 計画流量: 1,300～1,700m³/s

事業前

◆ 堤防の高さが低いため、洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。



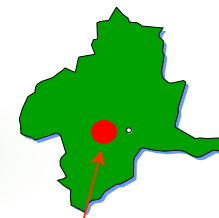
事業後

◆ 堤防を高くすることにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。

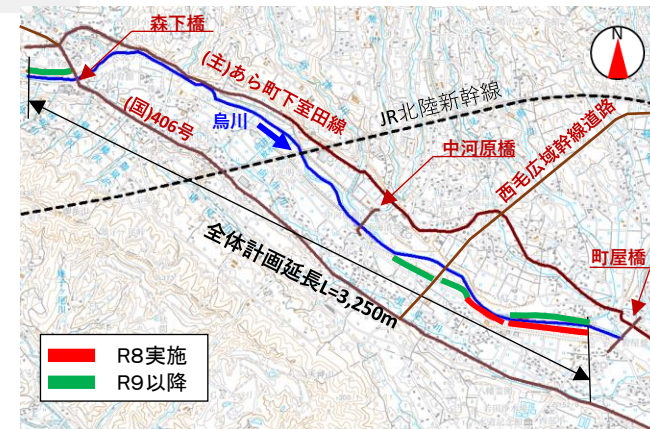


成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	77.8ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	530戸

実施後(目標)
0ha
0戸



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き堤防予定地の用地取得や付替市道工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

洪水を一時的に貯めるための調節池をつくります

地元の声

・近年の集中豪雨等により、浸水被害が生じないよう、対策をして欲しい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市綿貫町～大八木町
- 事業内容: 調節池 4箇所
- 事業期間: 平成27年度～
- 調節池面積: 16.5万m²(4箇所合計)
- 調節容量 : 49.6万m³(4箇所合計)

事業前

- ◆ 集中的な降雨があった際、河川への流入量が増え、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業後

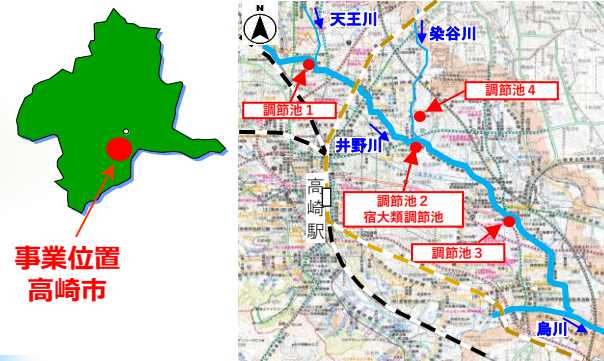
- ◆ 調節池に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入量を減らし、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



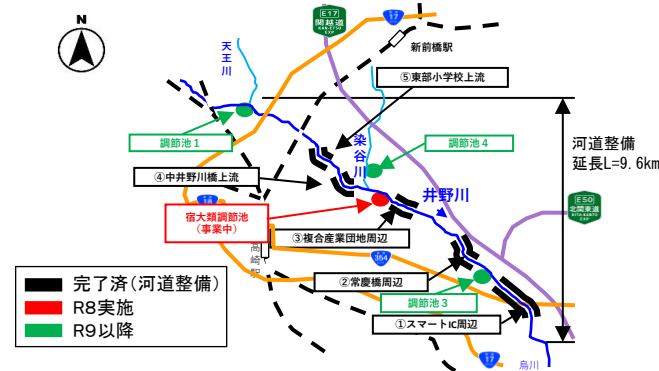
成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	537ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	8,061戸

実施後(目標)
0ha
0件

※完了した河道整備及び調節池整備の実施後による効果



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は引き続き、用地取得を行い、埋蔵文化財調査を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防をつくり、流せる水の量を増やします

地元の声

- ・近年の豪雨で地域が冠水してしまうのではと心配です。(地域住民)
- ・家が川の近くにあるため、氾濫しないようにしてもらいたい。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市吉井町池
- 事業内容: 築堤・護岸整備 320m
- 事業期間: 令和2年度～
- 事業着手前の流下能力: 約1,800m³/s
- 計画流量 : 3,200m³/s

事業前

- ◆ 堤防がないため洪水時に浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

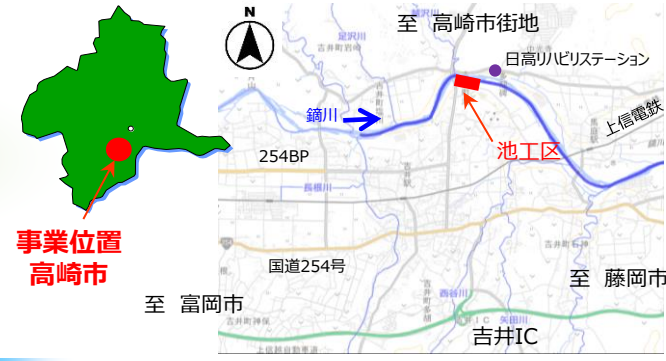
- ◆ 堤防を整備することにより、河川の氾濫による浸水リスクを軽減します。



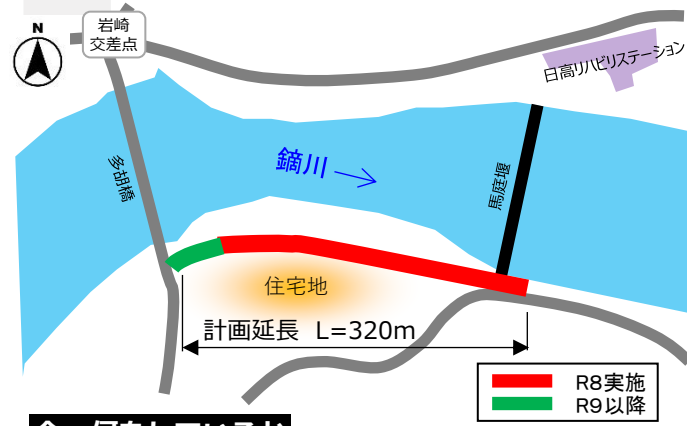
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	0.95ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	6戸

実施後(目標)
0ha
0戸



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

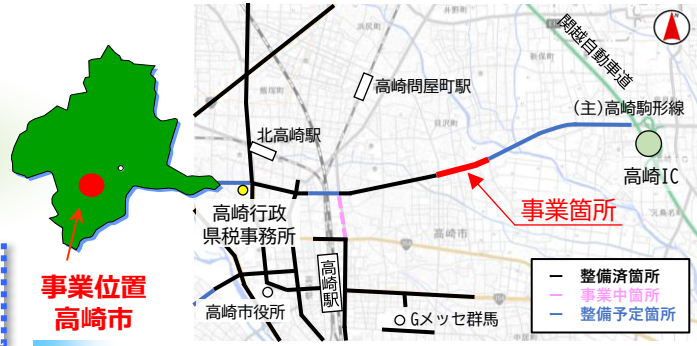
令和8年度は堤防を整備する工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

**電線を地中化して
電柱を撤去します**



**地元
の声**

- ・災害時に電柱が道路を塞がないようにしてほしい(地元住民)
- ・すっきりした景観を作ってほしい(高崎市内通勤者)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市上大類町
- 事業内容: 電線共同溝 延長1,300m
- 事業期間: 平成30年度～

現在の交通量: 38,777台/日(自動車)
(令和3年度) 90人/12時間(歩行者)
387台/12時間(自転車)

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。



事業前の状況

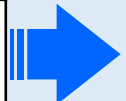
事業後

◆道路上の電柱がなくなり、災害時の安全な通行が確保されます。



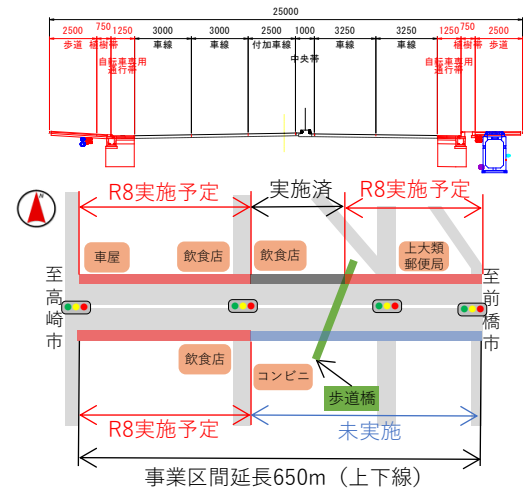
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
防災拠点と交通拠点間 (高崎行政県税事務所～高崎IC) の無電柱化率	57%
電柱倒壊のおそれ	あり



実施後(目標)
70%
なし

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度までに電線共同溝整備が完了したため、R8年度は歩道の再整備を実施します。



歩道再整備状況

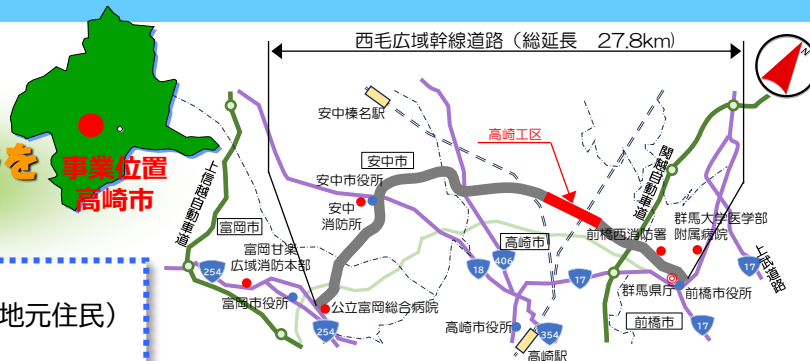
どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

地元の声

- ・災害時における安全な広域交通網を確保してほしい。(地元住民)
- ・箕郷地域から前橋・高崎方面に行くには、渋滞が激しい場所があり非常にアクセスが悪い。(地元住民)
- ・富岡から前橋への通勤時間が短くなるので、早く完成してほしい。(地元住民)

バイパス道路をつくります



事業の概要

- 事業箇所: 高崎市棟高町～箕郷町下芝
- 事業内容: バイパス整備 延長 3.2km 道路幅 23.3～25.0m
- 事業期間: 平成26年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第1次緊急輸送道路)
- 現在の交通量: 16,410台/日(現道 自動車) (令和3年度) 84人/12時間(現道 歩行者) 505台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量 : 26,900～29,600台/日(バイパス) (令和22年度) 9,900～14,200台/日(現道)

事業前

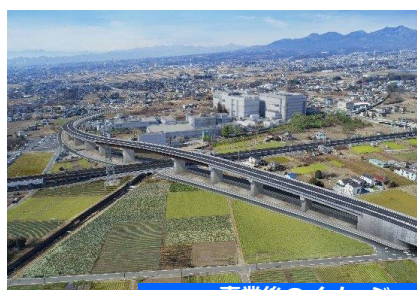
- ◆ 現道では通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



事業前の状況

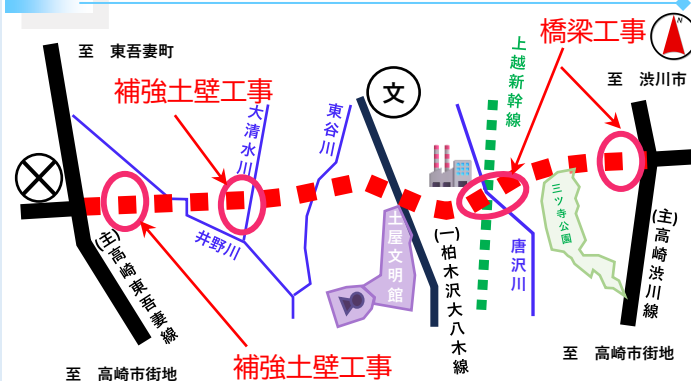
事業後

- ◆ バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時における広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能となります。



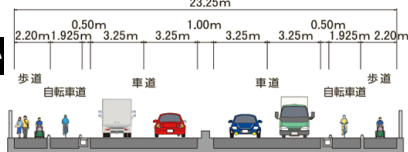
事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、用地取得を進めながら、埋蔵文化財調査、道路改良工事、新幹線跨線橋の工事を実施します。



終点側補強土壁工事の様子

成果を示す項目	実施前
富岡市から群馬県庁までの移動時間	62分
渋滞長(浜川交差点)	400m

実施後(目標)
38分(24分短縮)
0m(400m減少)

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・災害時における安全な広域交通網を確保してほしい。(地元住民)
- ・周辺の都市(前橋市・富岡市)へスムーズに行ける道路がほしい。(地元住民)
- ・生活道路の安全を確保するため西毛広域幹線道路を早期に整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:高崎市下里見町～安中市下秋間
- 事業内容:バイパス整備 延長 3.8km 道路幅 10.5m
- 事業期間:平成28年度～
- 緊急輸送道路:該当(第1次緊急輸送道路)

- 現在の交通量:5,356台/日(現道 自動車)
(令和3年度) 23人/12時間(現道 歩行者)
16台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量 :9,500台/日(バイパス)
(令和22年度) 500台/日(現道)

事業前

◆ 現道では通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



事業前の状況

事業後

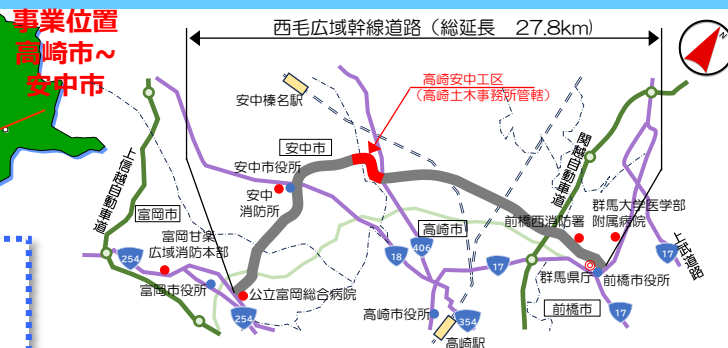
◆ バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時における広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能となります。



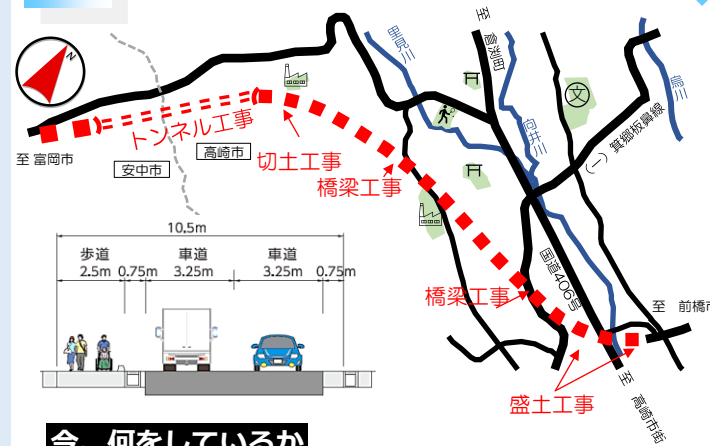
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
富岡市から群馬県庁までの移動時間	62分
渋滞長(岩井交差点)	300m

実施後(目標)
38分(24分短縮)
0m(300m減少)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は道路改良工事、下里見2号跨道橋、下里見高架橋、(仮称)市境トンネルの工事を実施します。



切土工事の様子

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

バイパス道路をつくります

地元 の 声

- ・周辺市町村や吉井ICへのアクセス性を高めてほしい。(地元住民)
- ・現道の渋滞がひどいので、バイパス整備により車の流れがよくなることを期待します。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市吉井町岩崎～矢田
- 事業内容: バイパス整備 延長1.9km 道路幅24.0m
- 事業期間: 平成29年度～
- 緊急輸送道路: 該当(第1次緊急輸送道路)
- 重要物流道路: 該当(代替・補完路)
- 現在の交通量: 13,460台/日(現道 自動車)
(令和3年度) 20人/12時間(現道 歩行者)
32台/12時間(現道 自転車)
- 計画交通量: 10,600台/日(現道 自動車)
(令和22年度) 28,200～28,500台/日(バイパス 自動車)

事業前

◆ 現道は、朝・夕をピークとする慢性的な渋滞が発生しており、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

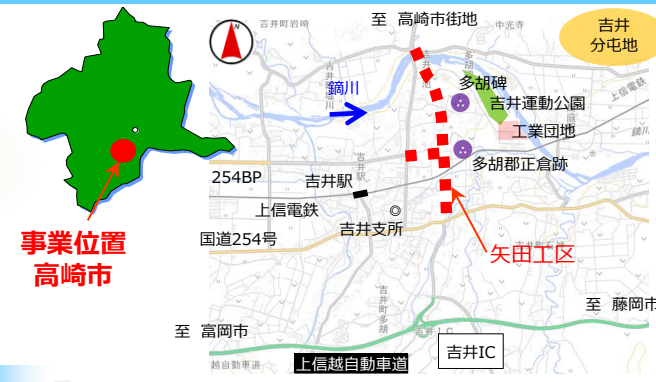
◆ バイパス整備により、現道の交通をバイパスに転換することで渋滞が解消され、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークが構築されます。



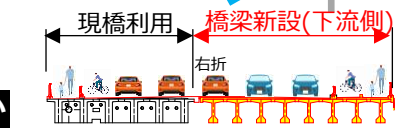
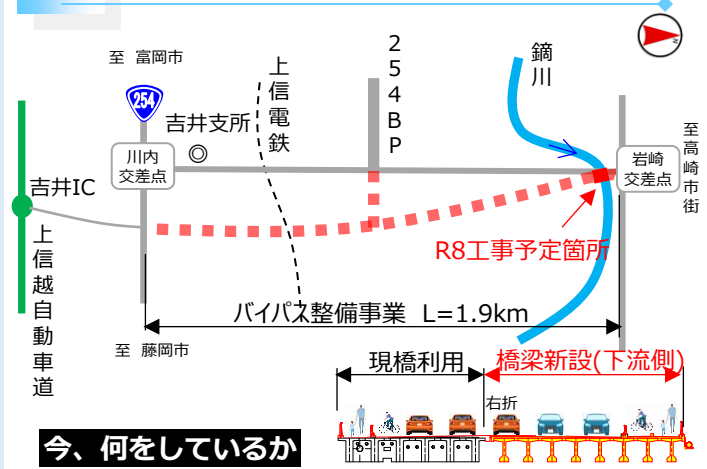
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
移動時間(吉井分屯地～吉井IC)	11分
岩崎交差点の渋滞長	530m

実施後(目標)
8分(3分減少)
0m(530m減少)



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくりました

地元の 声

・全国各地で土砂災害が発生しており、土石流に対して不安を抱いています。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市下室田町
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和2年度～令和7年度

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

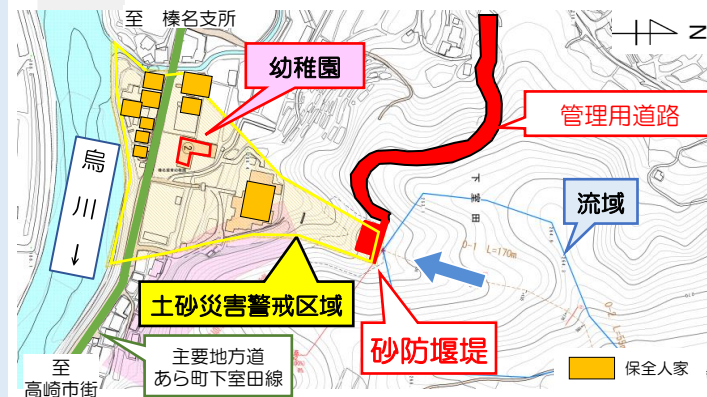


事業後の状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	9戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (幼稚園)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度に事業が完成し、土砂災害のリスクが軽減されました。



はるな郷A地区 かけ崩れ対策事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

- ・大雨時には、落石や土砂が道路に流れ出ることが多いため心配だ。(地元区長)
- ・入所者は施設外への避難が困難なため、大雨時など不安だ。(施設職員)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市箕郷町松之沢
- 事業内容: 防護柵工 L=387m
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。

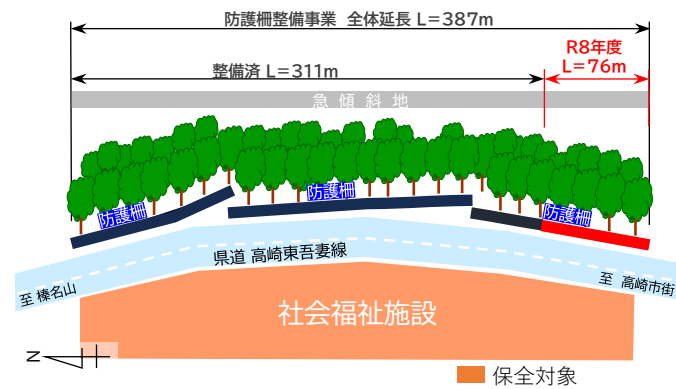


事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、防護柵の工事をを行います。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある重要施設等	3施設 (社会福祉施設)

実施後(目標)
0施設

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります

地元 の 声

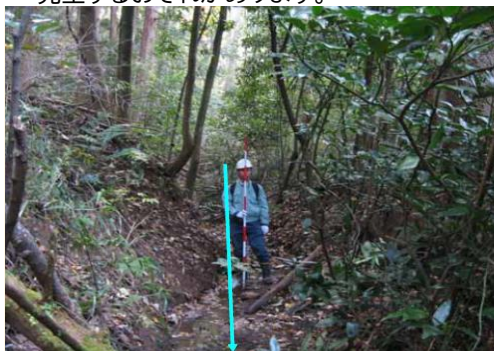
・過去の山火事により山が荒廃しているため、土石流が心配です。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市町上里見町
- 事業内容: 砂防堰堤 2基、渓流保全工
- 事業期間: 平成26年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

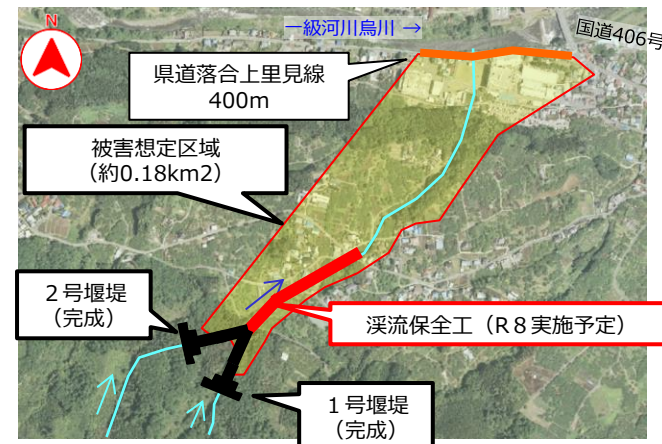


1号堰堤の完成状況

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	29戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道落合上里見線)

実施後(目標)
0戸
0箇所

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

砂防堰堤2基(1号堰堤と2号堰堤)が完成し、渓流保全工事を上流から行っています。



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

「まちのまとまり」をつなぐ都市間連携ネットワークを構築するため

道路を拡幅します

地元の声

- ・綿貫町交差点が変則交差点のため信号が複雑であり、大型車が多く常に渋滞している。(地元住民)
- ・歩行者、自転車の通る所を広めに確保してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市綿貫町～岩鼻町
- 事業内容: 現道拡幅(2→4車線) 延長1,320m、幅員24.5m～27.5m 電線共同溝整備延長 2,640m
- 事業期間: 平成26年度～
- 現在の交通量: 15,218台/日(自動車) (令和3年度)
- 計画交通量 : 39,700台/日(自動車) (令和12年度)

事業前

◆道路が狭く渋滞が発生しています。また、歩道がない区間では、歩行者の通行に危険が生じています。



事業前の状況

事業後

◆車線数を増やし、渋滞を解消することで、円滑な通行を確保します。
 ◆歩道を設け、安全な通行空間を確保します。



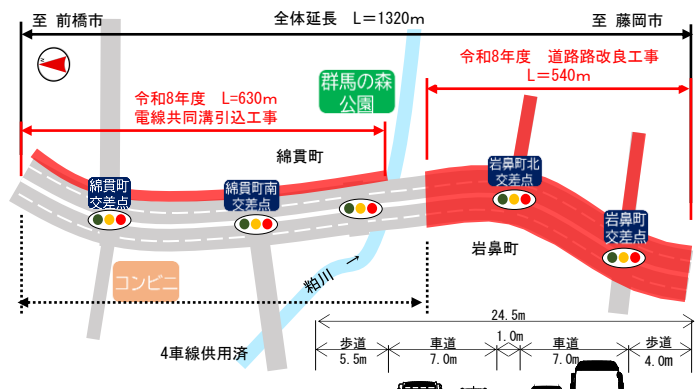
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
綿貫町交差点の渋滞長	380m
幅員が2.0m以上の歩道整備率	30%
電柱倒壊のおそれ	あり

実施後(目標)
0m
100%
なし



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き、道路改良工事を進めるとともに、電線共同溝の民地への引込管工事に着手します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

「まちのまとまり」をつなぐ都市間連携ネットワークを構築するため **道路を拡幅します**

地元の声

- ・車線が少なく、いつも渋滞が発生しているので、車線を増やしてほしい。(地元住民)
- ・高崎駅にも近く歩行者や自転車も多いので、拡幅により、歩行者、自転車、自動車が安全に通行できるようにしてほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市江木町～芝塚町
- 事業内容: 現道拡幅(2→4車線)
延長675m、幅員20.0m～27.0m
電線共同溝整備延長 1,342m
- 事業期間: 平成29年度～
- 現在の交通量: 23,260台/日(自動車)(令和3年度)
- 計画交通量 : 32,300台/日(自動車)(令和22年度)

事業前

- ◆朝夕の通勤時間帯を中心に交通混雑が発生し、移動に多くの時間がかかっています。
- ◆沿道に電柱が建っているため、歩行者の通行の妨げや、地震時には倒壊のおそれがあります。



事業後

- ◆車線数を増やし、渋滞を解消することで自動車の円滑な通行を確保します。
- ◆電線類を地中化し、地震時の電柱倒壊を防止します。

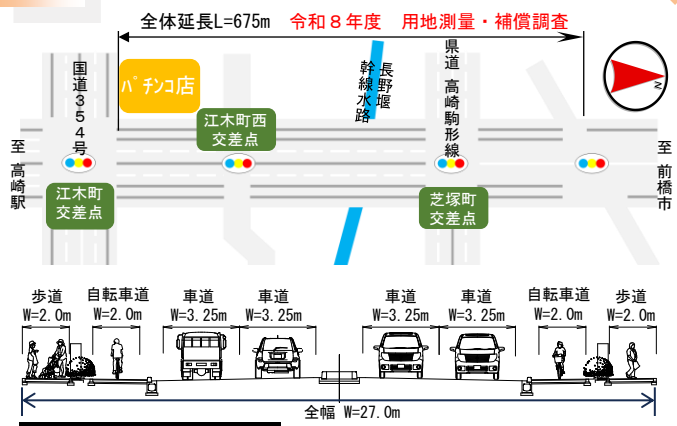


成果を示す項目	実施前
芝塚町交差点の渋滞長	450m
電柱倒壊のおそれ	なし

実施後(目標)
0m
あり



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、引き続き用地測量・補償調査を実施します。



国道254号（下長根工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

・歩道がなく、交通量が非常に多いため歩くのがこわい(地元区長、地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 高崎市吉井町下長根
 - 事業内容: 歩道整備 延長80m、歩道幅員2.5m
 - 事業期間: 平成30年度～
- 現在の交通量: 11,691台/日(自動車)(令和3年度)
 - 156人/12時間(歩行者)(平成27年度)
 - 152台/12時間(自転車)(平成27年度)

事業前

◆ 歩道がなく、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆ 歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は吉井橋架替事業と調整を行いながら、工事を進めます。



成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
幅員2m以上歩道の整備率	0%	100%

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備をします

地元の声

- ・通学時間帯は自転車の学生が多く危ないので、早く歩道ができて欲しい(地元住民)
- ・踏切付近が特に狭く車両のすれ違いに支障をきたしている(学校関係者、地元企業)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市井野町
- 事業内容: 延長440m、歩道幅員2.5m
- 事業期間: 平成24年度～
- 現在の交通量: 7,177台/日(自動車)
(令和3年度) 443人/12時間(歩行者)
510台/12時間(自転車)

事業前

◆歩道が無く、自転車や自動車との、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

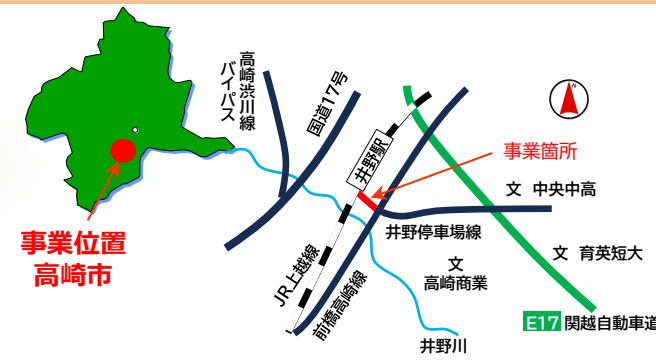
◆歩道を整備することで歩行者の安全な通行空間を確保します。



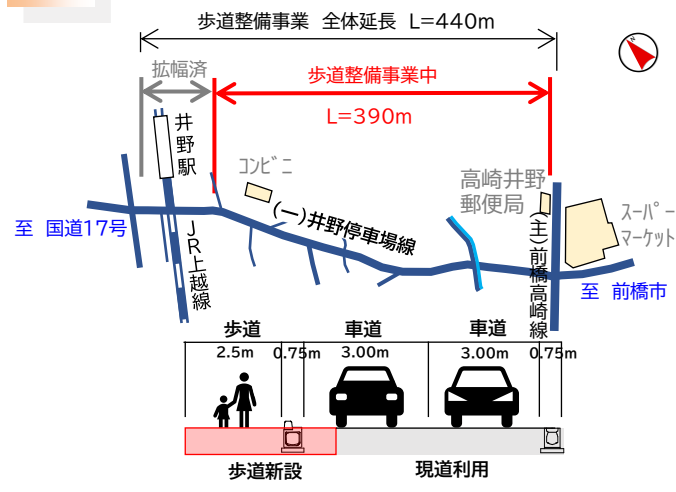
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得、埋蔵文化財調査を実施しました。
 令和8年度も引き続き用地取得と埋蔵文化財調査を進めます。



どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩く場所が狭いので、とても危険だ（地元住民）
- ・歩行者がいる時は、車を徐行して走らせるので渋滞してしまう（ドライバー）

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市浜川町地内
- 事業内容: 歩道整備 延長200m、幅員12m
- 事業期間: 令和元年度～

- 現在の交通量: 3,860台/日(自動車)
- (令和3年度) 25人/12時間(歩行者)
- 45台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 歩道がなく、通学児童をはじめとする歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 歩道を整備することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。



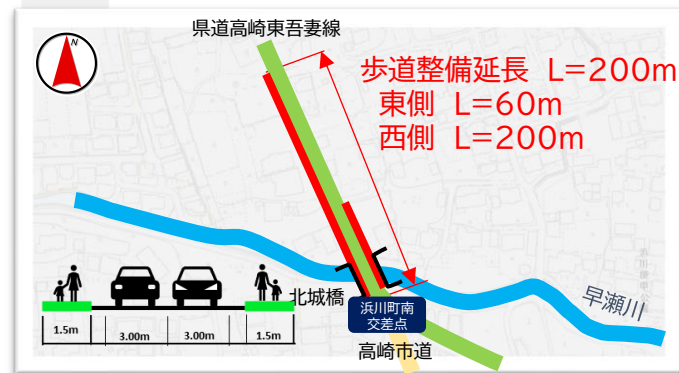
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は歩道整備に必要となる用地取得を行います。



どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・小学校の通学路になっていて児童・生徒が危ないので、早く歩道を整備して欲しい。(地元住民)
- ・踏切付近が狭く歩行者がいると車両のすれ違いが危ない。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市倉賀野町
 - 事業内容: 歩道整備 延長200m、歩道幅員2.5m
 - 事業期間: 令和2年度～
- 現在の交通量:
 5,911台/日(自動車)(令和3年度)
 171人/12時間(歩行者)(平成27年度)
 440台/12時間(自転車)(平成27年度)

事業前

◆歩道がなく、通学児童をはじめとする歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆歩道を整備することで、歩行者の安全な通行空間を確保します。



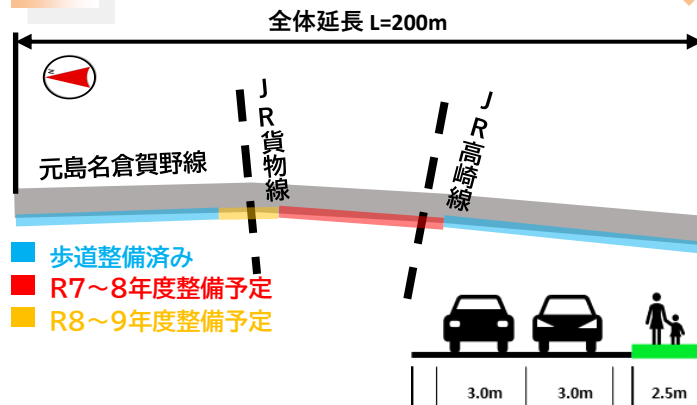
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
法指定通学路の歩道整備率	0%
幅員2m以上歩道の整備率	0%

実施後(目標)
100%
100%



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は、JR高崎線及びJR貨物線踏切付近の歩道を整備する工事を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、社会経済の壊滅的な被害を回避するため

堤防の整備や河川内を掘削することで、水の通り道を広げます

地元の声

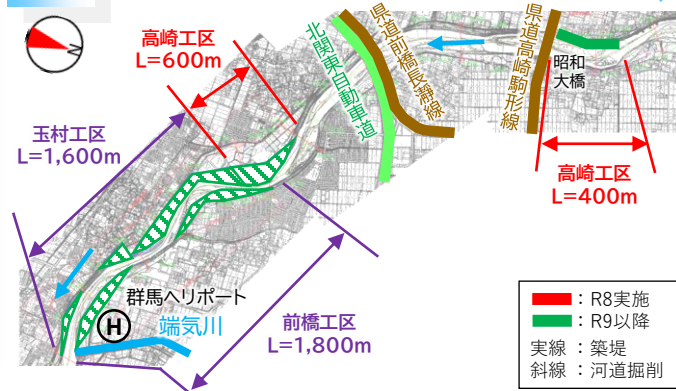
- ・洪水の時に不安なので、堤防の高さが足りないところは高くしてほしい。(地域住民)
- ・川に堆積している土砂により、水がせき上げられ、氾濫する危険が高まっているのではないか。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所：高崎市中島町～萩原町地先
- 事業内容：河道掘削 600m
 築堤 400m
- 事業期間：令和7年度～
- 事業着手前の流下能力：4,400m³/s
- 計画流量：6,000m³/s



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

令和8年度は測量、詳細設計を実施します。



事業前

◆ 堤防がない又は低いため、大雨の時は河川氾濫により浸水するリスクが高い状況です。



事業後

◆ 堤防を整備するとともに、河川内の掘削を行って水の通り道を広げることで、水が流れる容量を増やし、河川氾濫による浸水リスクを軽減させます。



成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	2,886ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	17,557戸
想定氾濫区域内の要配慮者利用施設	124施設

実施後(目標)
28ha
334戸
0施設

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路への落石を防ぐ 施設を作ります

地元の声

・道路斜面からの落石の心配をしなくて通行できると安心です。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 高崎市吉井町東谷
- 事業内容: 落石対策 3箇所
- 事業期間: 令和7年度～
- 現在の交通量: 776台/日(自動車) (令和3年度)
- 緊急輸送道路区分: 指定無し

事業前

- ◆ 道路路面の浸食が進行しており、大雨等の際には、落石や土砂崩落が発生して道路が寸断され、孤立集落が発生するおそれがあります。



事業後

- ◆ 法面の落石対策を行うことで、落石や土砂崩落による道路の寸断を防止し、孤立集落が発生するリスクを軽減します。

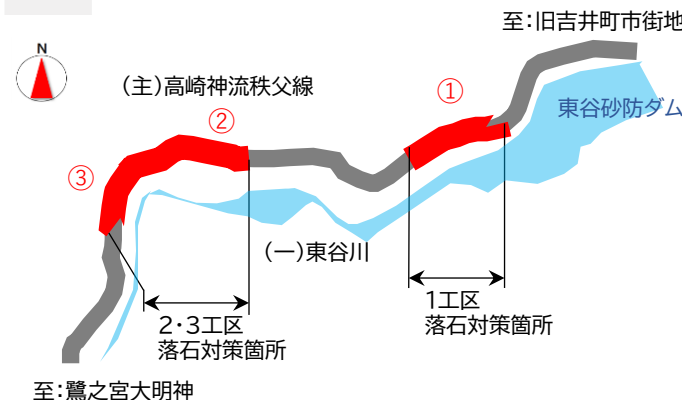


成果を示す項目	実施前
落石危険箇所数	3箇所

実施後(目標)
0箇所



事業の進捗状況(令和8年3月末現在)



今、何をしているか

R7年度は、1工区の詳細設計を実施しました。
R8年度は、1工区の用地取得と対策工事に着手するとともに、2・3工区の詳細設計等を実施します。

